

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	<p>膿胸開窓術後の治療成績ならびに VAC 療法の有効性 [倫理審査受付番号：第 4643 号]</p>
研究責任者氏名	<p>近藤 展行</p>
研究機関長名	<p>兵庫医科大学 学長 鈴木 敬一郎</p>
研究期間	<p>2024 年 2 月 27 日 ~ 2024 年 12 月 31 日</p>
研究の対象	<p>以下に該当する患者さんを研究対象とします。</p>
	<p>疾患名：膿胸 / 診療科名等：呼吸器外科</p>
	<p>受診日：2004 年 1 月 1 日 ~ 2023 年 12 月 31 日</p>
研究に用いる 試料・情報の種類	<p>試料等 カルテ情報 アンケート その他 ()</p>
	<p>取得の方法： 診療の過程で取得 その他 ()</p>
研究目的・意義	<p>膿胸は難治性の疾患であり、特に慢性膿胸や有癭性膿胸は開窓術を要する事が多く予後不良です。疾患の特性上、全身状態不良な患者様が多く、閉窓術へ至らずに死亡される患者様も認められます。その予後や閉窓出来ないリスク因子を実際に報告した研究は少ないです。本研究では当院で膿胸に対し開窓術を施行した患者様を対象として、生存成績、閉窓術に至らないリスク因子を調査します。また近年、膿胸開窓術後に行われる VAC 療法（注 1）の治療状況を検討する事を目的とします。</p> <p>本研究により膿胸開窓術後の患者様の臨床成績を報告し、今後の膿胸診療の向上に役立つ可能性があると考えます。</p> <p>注 1：VAC 療法とは陰圧吸引閉鎖療法の事であり膿胸においては開窓部全体を閉鎖性ドレッシング材で覆い、創面に陰圧を付加して閉鎖環境を保つことによって創部を管理する方法です。過去の報告で VAC 療法により膿胸腔の浄化、開窓期間の短縮、入院期間の短縮、最終的な閉創率の向上が示唆されています。</p>

研究の方法	2004年1月1日から2023年12月31日までに膿胸に対し当院で手術(開窓術)を実施した患者様を対象とします。開窓後に最終的に閉窓術まで至ったかどうかで二群に分けて、その予後、閉窓が出来なかったリスク因子を検討します。対象患者様の臨床情報(年齢、性別、併存疾患、VAC療法の有無等)は全て電子カルテより収集します。
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：呼吸器外科 担当者氏名：近藤 展行 [電話] (平日9時~17時) 0798 - 45 - 6885 (上記時間以外) 0798 - 45 - 6111